

機能変更・追加説明書

ネットワークカメラ

品番 **BB-HCM311** **BB-HCM331**
BB-HCM371 **BB-HCM381**

■ 製品の仕様変更に伴い、以下の内容が変更・追加になります。
製品をご使用の際は、セットアップCD-ROM内の取扱説明書と本説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

変更・追加項目一覧

追加項目	内 容	記載ページ
カメラの初期設定時における「手動設定」	LANから見えるようにカメラを設定する初期設定時に、セットアップCD-ROMによる「カメラの手動設定」ができるようになりました。	5ページ
デジタルズームの操作	カメラの画像を10倍まで拡大表示することができるデジタルズーム機能を搭載しました。	6ページ
BB-HCM381のズーム操作	42倍ズームをマウスで操作できるようになりました。また、10倍デジタルズーム機能を、マルチ画面、一時保存画面で使えるようになりました。	7ページ
20に増えたプリセットポジション	20のプリセットポジションを登録できるようになりました。	9ページ



変更・追加項目一覧




追加項目	内 容	記載ページ
「みえますねっと」の名称変更、および、「一時保存／転送」メニュー（機能）の移動とメニュー（機能）の追加	設定画面において、「みえますねっと」の名称を変更し、また、「一時保存／転送」メニュー（機能）の移動とメニュー（機能）の追加を行いました。	12ページ
「ユーザー指定ダイナミックDNS」サービスに登録する	「ユーザー指定ダイナミックDNS」を設定できるようになりました。	13ページ
指定ポジション復帰の「指定時間」	カメラ設定画面における指定ポジション復帰の「指定時間」を変更しました。	16ページ
SDメモリーカードをフォーマットする	SDメモリーカードのフォーマット方法を変更しました。	17ページ
SDメモリーカードへの録画を停止する	SDメモリーカードへの録画停止の方法を変更しました。	18ページ
SDメモリーカードへの録画を開始する	動作条件設定画面でSDメモリーカードへの録画を開始できるようになりました。	19ページ
カメラ画像の一時保存／転送設定の流れ	カメラ画像の一時保存／転送の設定手順、内容について記載しています。	20ページ
「FTP転送を行う場合」における「ログインID」と「パスワード」の入力文字制限を変更	FTPサーバーにログインするために必要な「ログインID」と「パスワード」の入力文字として「"」以外を使うことができます。	21ページ
「Eメール転送を行う場合」において、「ポート番号」が設定可能、また、「ログインID」、「パスワード」、「送信者（Eメールアドレス）」および「あて先1～3（Eメールアドレス）」の入力文字制限を変更	<p>①「送信Eメール（SMTP）サーバー」と「受信Eメール（POP3）サーバー」にたいする「ポート番号」として「1～65535」を設定することができます。</p> <p>②POP3サーバーにログインするために必要な「ログインID」と「パスワード」のための入力文字として「"」以外を使うことができます。</p> <p>③「送信者（Eメールアドレス）」と「あて先1～3（Eメールアドレス）」の入力文字として「"」以外を使うことができます。</p>	22ページ

変更・追加項目一覧

追加項目	内 容	記載ページ
アラーム検知でカメラ画像を一時保存もしくは転送する	アラーム検知でカメラ画像を一時保存もしくは転送する場合、動作条件設定画面における動作条件として、「動作検知」を選ぶことができるようになりました。	23ページ
動作検知でカメラ画像を一時保存もしくは転送する	動作検知でカメラ画像を一時保存もしくは転送できるようになりました。	34ページ
動作検知感度を変更する	動作検知の感度を変更できるようになりました。	45ページ
アラームログを通知する	一日一回、指定した時間に送信されるEメールでアラームログを確認できるようになりました。	48ページ
画像表示設定画面の「時刻表示設定」	画像表示設定画面の「時刻表示設定」における設定項目を変更しました。	51ページ
メンテナンス画面へ「接続者情報」と「アラームログ」を追加	メンテナンス画面へ「接続者情報」と「アラームログ」を追加しました。	52ページ
カメラへの接続者情報表示機能を追加	カメラに接続しているクライアントの情報を確認することができます。	53ページ
アラームログを表示する	アラームログを表示できるようになりました。	54ページ
携帯電話でのプリセットポジションとアラームログ	携帯電話で、登録したプリセットポジションとアラームログを見ることができます。	55ページ

変更・追加項目一覧

本書に使用しているマークについて

-  参照するページを示します。
-  操作上お守りいただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。必ずお読みください。
-  便利な使いかたやアドバイスなどの関連知識を記載しています。

【商標および登録商標】


- Hotmailは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDロゴは商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

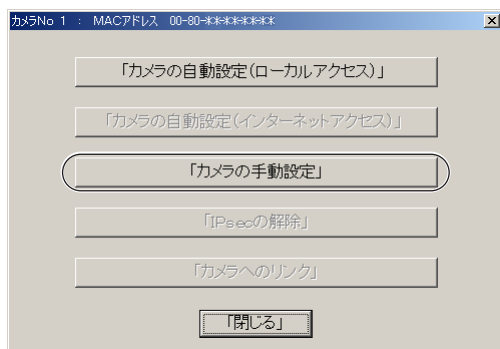
【記載について】

- 本書では「ネットワークカメラ」のことを「カメラ」と表記しています。
- 本書では、BB-HCM311の画面を使って説明しています。

LANから見えるようにカメラを設定する

カメラの初期設定時における「手動設定」

LANから見えるようにカメラを設定する初期設定時（ 取扱説明書 [基本編]）に、セットアップCD-ROMによる「カメラの手動設定」ができるようになりました。



一台のカメラ画像を見る

デジタルズームの操作

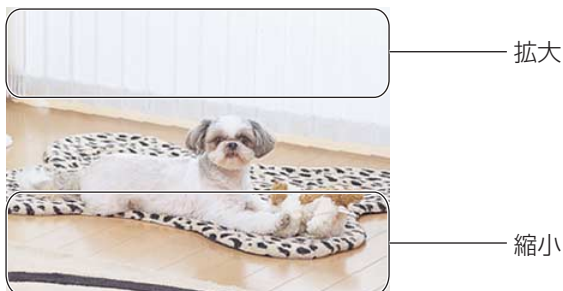
カメラの画像を10倍まで拡大表示することができるデジタルズーム機能を搭載しました。デジタルズームは、シングル画面、マルチ画面、一時保存画面で使うことができます(動画中のみ)。デジタルズームの倍率操作は、マウスの右ボタン、またはホイールマウスのホイール部で行うことができます。



- デジタルズームを実行中でも、クリック&センタリング操作を行うことができます。
- 倍率が高くなるにつれ、画質は低下します。
- 携帯電話からは利用できません。

● マウスの右ボタンによるズーム操作の場合

画像上でマウスの右ボタンを押したままマウスを上下方向に動かすことで、画像(の中央部)が拡大・縮小表示されます。

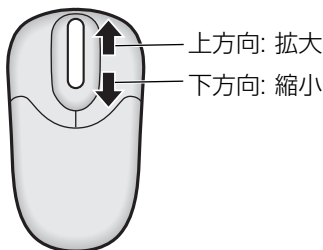


● マウスのホイール回転によるズーム操作の場合

画像上で上方向へスクロールすると被写体が拡大し、下方向へスクロールすると被写体が縮小します。



マウスのホイール回転によるズーム操作の場合、ホイール操作の大きさにしたがって動作します。ホイール操作の大きさは、お使いのOSで設定してください。



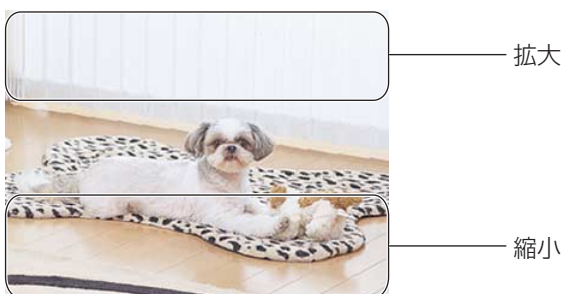
一台のカメラ画像を見る

BB-HCM381のズーム操作

従来搭載していた42倍ズーム（21倍光学ズームと2倍デジタルズーム）をマウスで操作できるようになりました（動画中のみ）。また、10倍デジタルズーム機能を、マルチ画面、一時保存画面で使えるようになりました（動画中のみ）。ズームの倍率操作は、マウスの右ボタン、またはホイールマウスのホイール部で行うことができます。

● マウスの右ボタンによるズーム操作の場合

画像上でマウスの右ボタンを押したままマウスを上下方向に動かすことで、画像（の中央部）が拡大・縮小表示されます。

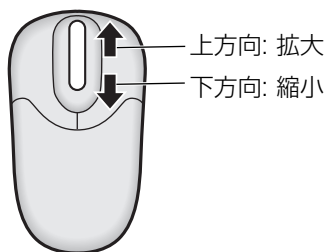


● マウスのホイール回転によるズーム操作の場合

画像上で上方方向へスクロールすると被写体が拡大し、下方方向へスクロールすると被写体が縮小します。



マウスのホイール回転によるズーム操作の場合、ホイール操作の大きさにしたがって動作します。ホイール操作の大きさは、お使いのOSで設定してください。



一台のカメラ画像を見る

■「ズーム操作」を許可している場合と禁止している場合

「機能許可設定」(🔒 取扱説明書の「一般ユーザーを新規登録、変更、削除する」)で「ズーム操作」を許可している場合と禁止している場合とで、ズームの種類が異なります。

- 「機能許可設定」で「ズーム操作」を禁止している場合

カメラの画像を10倍まで拡大表示することができるデジタルズーム機能を使うことができます。

- 「機能許可設定」で「ズーム操作」を許可している場合

42倍のズーム機能を使うことができます。画像左上に倍率は表示されません。

一台のカメラ画像を見る

20に増えたプリセットポジション

20のプリセットポジションをカメラポジションとして登録することができるようになりました。プリセットポジションは変更することができます。(P. 11ページ)

アラーム検知 (P. 23ページ) や動作検知 (P. 34ページ) したときには、カメラは登録した位置に向くことができます。プリセットボタン (①～④) は、以下の内容で工場出荷時に登録されています (BB-HCM381を除く)。

① 左上、② 右上、③ 左下、④ 右下

〔登録済み：プリセットボタンは青色で表示されます。〕
〔未登録：プリセットボタンは白色で表示されます。〕

■ プリセットポジションの登録のしかた

1 登録 をクリックする

- **登録** が **取消** に変わります。

中止するときは、**取消** をクリックします。

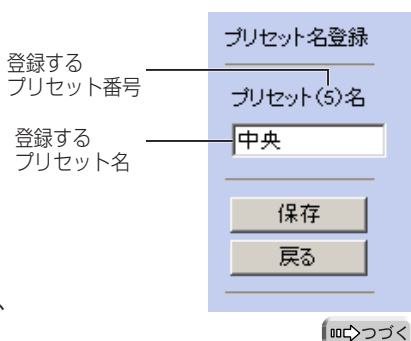
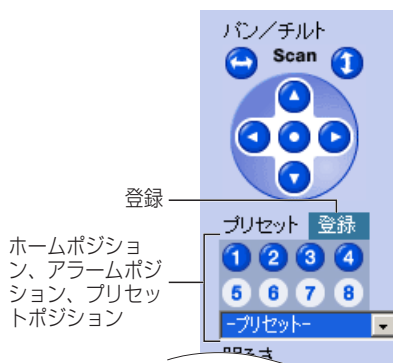
2 パン／チルト、ズーム (BB-HCM381のみ)、フォーカス (BB-HCM381のみ) で登録したい画面を調節する

3 登録するプリセットポジション (①～②⑩) をドロップダウンリストから選び、プリセット名を入力する

(例) プリセット番号 ⑤ に"中央"を登録する

プリセットボタン (①～⑧) を選んだときは、プリセット名を入力してください。

- 半角：15文字まで
- 全角：7文字まで
- 全角は、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が使えます。
半角は、英数字、記号が使えます。
ただし [スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。



一台のカメラ画像を見る

4 登録する場合は、**保存** をクリックする

- "保存が完了しました。"と表示されたら、**戻る** をクリックしてください。

登録しない場合は、**戻る** をクリックし、**取消** をクリックする

①～⑧のボタンのみ表示されます。

登録した番号のボタンが青に変わる。

プリセット番号とプリセット名が表示されます。



- プリセット登録操作は、管理者だけができます。
- プリセット登録では、登録時に設定されている明るさ、ホワイトバランスも一緒に登録されます。デジタルズームの値は保存されません。
- 登録したプリセットポジションは、カメラ設定画面の指定ポジション復帰において、指定ポジションとして選ぶことができます。
- 登録したプリセットポジションは、動作条件設定画面で動作条件として「アラーム検知」または「動作検知」を選んだ場合、検知時ポジションの移動先として選ぶことができます。
- 登録したプリセットポジションは、携帯電話で見ることができます。
(☎ 55ページ)

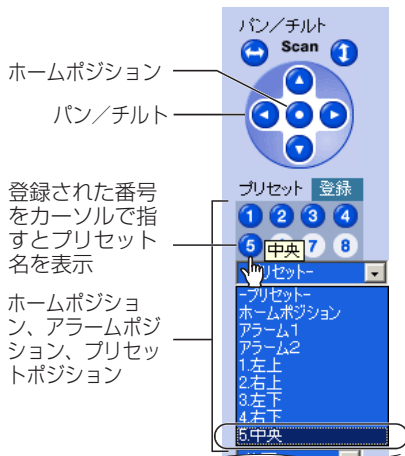
■ 登録したポジションを見る

1 ホームポジション、アラームポジションまたは登録されているプリセットポジションをクリックする

- 登録された所の画像が表示されます。



- 携帯電話から、登録したプリセットポジションを見ることができます。
- 位置によっては登録された所の画像から多少ずれる場合があります。



一台のカメラ画像を見る

■ 変更／削除のしかた

1 **登録** をクリックする

- **登録** が **取消** に変わります。
中止するときは、**取消** をクリックします。

2 パン／チルトで登録する画面を調節する

- 削除の場合は、この手順は不要です。

3 ホームポジション、アラームポジションまたはプリセットポジション(①～⑳)を選ぶ

4 変更する場合は、表示されたプリセット名を変更し、**保存** をクリックする

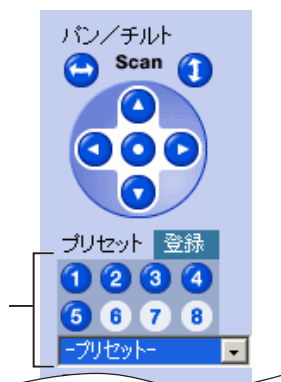
- "保存が完了しました。"と表示されたら、**戻る** をクリックしてください。

削除する場合は、**削除** をクリックする

- "削除が完了しました。"と表示されたら、**戻る** をクリックしてください。

変更または削除しない場合は、

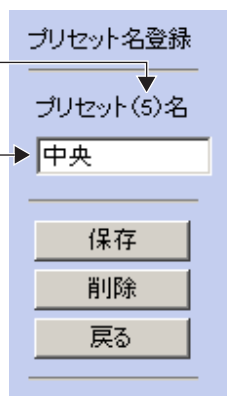
戻る をクリックし、**取消** をクリックする



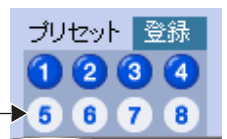
ホームポジション、アラームポジション、プリセットポジション

変更／削除するプリセット番号

変更するプリセット名



登録を削除するとボタンの色が白になります。

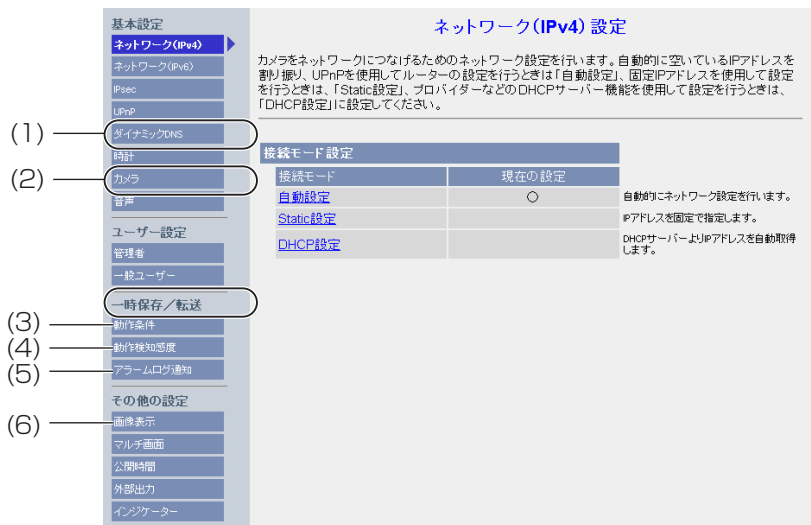


ホームポジション／アラームポジションの場合は、削除ボタンは表示されません。また、名前の変更もできません。

カメラの各機能を使う

「みえますねっと」の名称変更、および、「一時保存／転送」メニュー（機能）の移動とメニュー（機能）の追加

設定画面において、「みえますねっと」を「ダイナミックDNS」へと名称変更し、「一時保存／転送」メニュー（機能）を移動しました。「一時保存／転送」において、「動作条件」の一部の操作方法を変更し、また、「動作検知感度」と「アラームログ通知」を新しいメニュー（機能）として追加しました。



[基本設定]

- (1) ダイナミックDNS
- (2) カメラ

ダイナミックDNSサービスの設定 (📖 13ページ)
カメラ名、ホワイトバランス、パン範囲、チルト範囲の指定、指定ポジション復帰、カラーナイトビューモードの設定 (📖 16ページ)

[一時保存／転送]

- (3) 動作条件
- (4) 動作検知感度
- (5) アラームログ通知

画像を内部メモリーに一時保存、または、転送する条件の設定 (📖 20、23および34ページ)
動作検知の感度の設定 (📖 45ページ)
アラームログ通知先を設定する (📖 48ページ)

[その他の設定]

- (6) 画像表示

シングル、マルチ画面の解像度、画質、画像更新間隔、時刻表示の設定 (📖 51ページ)

カメラの各機能を使う

「ユーザー指定ダイナミックDNS」サービスに登録する

ダイナミックDNS設定画面では、当社が推奨するダイナミックDNSサービスである「みえますねっと」サービス（有料、IPv4/IPv6対応）のほかに、「ユーザー指定ダイナミックDNS」を設定できるようになりました。ダイナミックDNSサービスを利用するとき、DNSサーバーアドレスの設定が必要です。（※ 取扱説明書（応用編）の「IPv4ネットワークにつなぐ」と「IPv6ネットワークにつなぐ」）



- 当社では、みえますねっとサービス以外のダイナミックDNSサービスに関する動作確認や動作保証は一切行っていません。したがって、みえますねっとサービス以外のダイナミックDNSサービスの利用により、お客様に何らかの障害や損害が発生したとしても、当社では責任を負いかねます。
- みえますねっとサービス以外のダイナミックDNSサービスの選定・設定に関するお問い合わせは、当該サービスの提供事業者にお問い合わせください。

1 設定画面で **ダイナミックDNS** をクリックする

2 「ユーザー指定ダイナミックDNS」をチェックし、**次へ>** をクリックする

- **元に戻す** をクリックすると、設定は保存されずにダイナミックDNS設定画面に戻ります。

カメラの各機能を使う

3 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

ユーザー指定ダイナミックDNS

ダイナミックDNS
サーバーURL
(半角1～255文字)

更新時間 10分

ユーザー名・パスワード設定

ユーザー名
(半角0～63文字)

パスワード
(半角0～63文字)

保存 キャンセル

- **キャンセル** クリックすると、設定は保存されずにダイナミックDNS設定画面に戻ります。
- ダイナミックDNSを使うために必要な情報は、ダイナミックDNSサービスプロバイダーから得ることができます。

データ入力欄

設定項目	設定内容
ダイナミックDNS サーバーURL	● ダイナミックDNSサービスプロバイダーから取得したURLを入力してください。
更新時間	● 更新時間を指定してください。
ユーザー名	● ダイナミックDNSサービスプロバイダーに登録したユーザー名を入力してください。
パスワード	● ダイナミックDNSサービスプロバイダーに登録したパスワードを入力してください。

4 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

5 **ダイナミックDNS設定画面へ** をクリックする

- ダイナミックDNS設定画面が表示されます。



- カメラURLが有効になるまでに、数分から数十分かかることがあります。
- カメラが対応していないダイナミックDNSサービスプロバイダーがあります。ダイナミックDNSサービスとして、当社は「みえますねっと」サービスを推奨します。

カメラの各機能を使う

■ インターネット経由でアクセスできるか確認したいとき

カメラと同じルーターにつながっているパソコンから、「インターネットで使用：
http://***.***.***.***:*****」のアドレスでアクセスしても、ルーターによっては
画像が表示されないことがあります。その場合は、以下の方法で確認してください。

- ① インターネットにつながっている別のネットワークのパソコンで確認する：

http://***.***.***.***:*****

- ② 携帯電話で確認する：http://***.***.***.***:*****/mobile

カメラの各機能を使う

指定ポジション復帰の「指定時間」

カメラ設定画面における指定ポジション復帰の「指定時間」を変更しました。

カメラ名設定

カメラ名NetworkCamera

ホワイトバランス設定

ホワイトバランス自動

パン範囲指定

最小

ホームポジション

最大

-60度

0度

+60度

チルト範囲指定

最小

ホームポジション

最大

-45度

0度

+20度

指定ポジション復帰

指定時間

指定しない

指定ポジション

ホームポジション

カラーナイトビューモード


☐許可

☒禁止

保存

元に戻す

データ入力欄

設定項目	設定内容
指定ポジション復帰	<div><ul style="list-style-type: none">指定した時間内にカメラが操作されなかったとき、カメラの向きが指定のポジションに移動します。次の設定を選ぶことができます。<ul style="list-style-type: none">指定時間...指定しない、10秒、20秒、30秒、1分、5分、10分、30分、1時間指定ポジション...ホームポジション、プリセットポジション1～20、アラーム1、アラーム2</div> <div><div>お知らせ</div><ul style="list-style-type: none">登録されていないプリセットポジションは表示されません。指定ポジションへプリセットポジションを登録するときは、指定時間を長めに設定してください。指定時間が短い場合、プリセットポジション登録中に指定ポジションへ復帰します。</div>

カメラの各機能を使う

SDメモリーカードをフォーマットする

SDメモリーカードにカメラ画像を録画する前に、フォーマットを行う必要があります。



- SDメモリーカードの使用容量などの情報は、ステータス画面（ 取扱説明書（応用編）の「カメラの状態（ステータス）を確認する」）に表示されます。
- SDメモリーカードに録画したファイルはビューアソフトを使ってパソコン上で見ることができます。ビューアソフトはパナソニックのサポートウェブサイト（<http://panasonic.biz/netsys/netwkcaml/support/>）からダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

1 SDメモリーカードを差し込む（ 取扱説明書（基本編）の「SDメモリーカードを使うとき」）

2 設定画面で **動作条件** をクリックする

3 **フォーマット** をクリックする

動作条件												
No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—

SDメモリーカード
SDメモリーカードのフォーマット、SD録画停止を行います。
SDメモリーカードを取り出す場合には、SD録画停止ボタンを押してから取り出してください。

フォーマット

SD録画停止

4 確認画面が出るので、 **OK** をクリックする

- フォーマットを完了します。

5 **動作条件設定画面へ** をクリックする

- 動作条件設定画面が表示されます。

カメラの各機能を使う

SDメモリーカードへの録画を停止する

SDメモリーカードを取り出すときは、必ず録画を停止してから取り出してください。



- SDメモリーカードに録画したファイルはビューアソフトを使ってパソコン上で見ることができます。ビューアソフトはパナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwkcaml/support/>) からダウンロードし、パソコンにインストールしてください。
- SDメモリーカードの使用容量などの情報は、ステータス画面 (取扱説明書 (応用編) の「カメラの状態 (ステータス) を確認する」) に表示されます。
- カメラを再起動 (取扱説明書 (応用編) の「カメラを再起動する」) すると、SDメモリーカードへの録画を再開します。
- SDメモリーカードを一度抜いてもう一度差し込むと、SDメモリーカードへの録画を再開します。 (取扱説明書 (基本編) の「SDメモリーカードを使うとき」)

1 設定画面で **動作条件** をクリックする

2 **SD録画停止** をクリックする

動作条件												
No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存 (上書きなし)	—
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存 (上書きなし)	—
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存 (上書きなし)	—
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存 (上書きなし)	—
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存 (上書きなし)	—

SDメモリーカード	
SDメモリーカードのフォーマット、SD録画停止を行います。 SDメモリーカードを取り出す場合は、SD録画停止ボタンを押してから取り出してください。	
フォーマット	SD録画停止

3 確認画面が出るので、 **OK** をクリックする

- SDメモリーカードへの録画を停止します。

4 **動作条件設定画面へ** をクリックする

- 動作条件設定画面が表示されます。



SDメモリーカードを取り出す前に、録画が停止していることを確認してください。SDメモリーカードへの録画開始後は、SDメモリーカードの抜き差し、カメラの再起動、または、電源を切ったりしないでください。録画できる枚数や容量の減少、または、データの破損や故障の原因となります。

カメラの各機能を使う

SDメモリーカードへの録画を開始する

動作条件設定画面でSDメモリーカードへの録画を開始できるようになりました。



- SDメモリーカードに録画したファイルはビューアソフトを使ってパソコン上で見ることができます。ビューアソフトはパナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwkcaml/support/>) からダウンロードし、パソコンにインストールしてください。
- SDメモリーカードの使用容量などの情報は、ステータス画面 (取扱説明書 (応用編) の「カメラの状態 (ステータス) を確認する」) に表示されます。
- カメラを再起動 (取扱説明書 (応用編) の「カメラを再起動する」) すると、SDメモリーカードへの録画を再開します。
- SDメモリーカードを一度抜いてもう一度差し込むと、SDメモリーカードへの録画を再開します。(取扱説明書 (基本編) の「SDメモリーカードを使うとき」)

1 設定画面で **動作条件** をクリックする

2 **SD録画開始** をクリックする

動作条件												
No	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存 (上書きなし)	—
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存 (上書きなし)	—
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存 (上書きなし)	—
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存 (上書きなし)	—
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存 (上書きなし)	—

SDメモリーカード
SDメモリーカードのフォーマット、SD録画開始を行います。
SDメモリーカードに録画を行う場合は、SD録画開始ボタンを押してください。

フォーマット SD録画開始

- 「SD録画を開始しました。」と表示されます。

3 **動作条件設定画面へ** をクリックする

SD録画を開始しました。

動作条件設定画面へ

- 動作条件設定画面が表示されます。



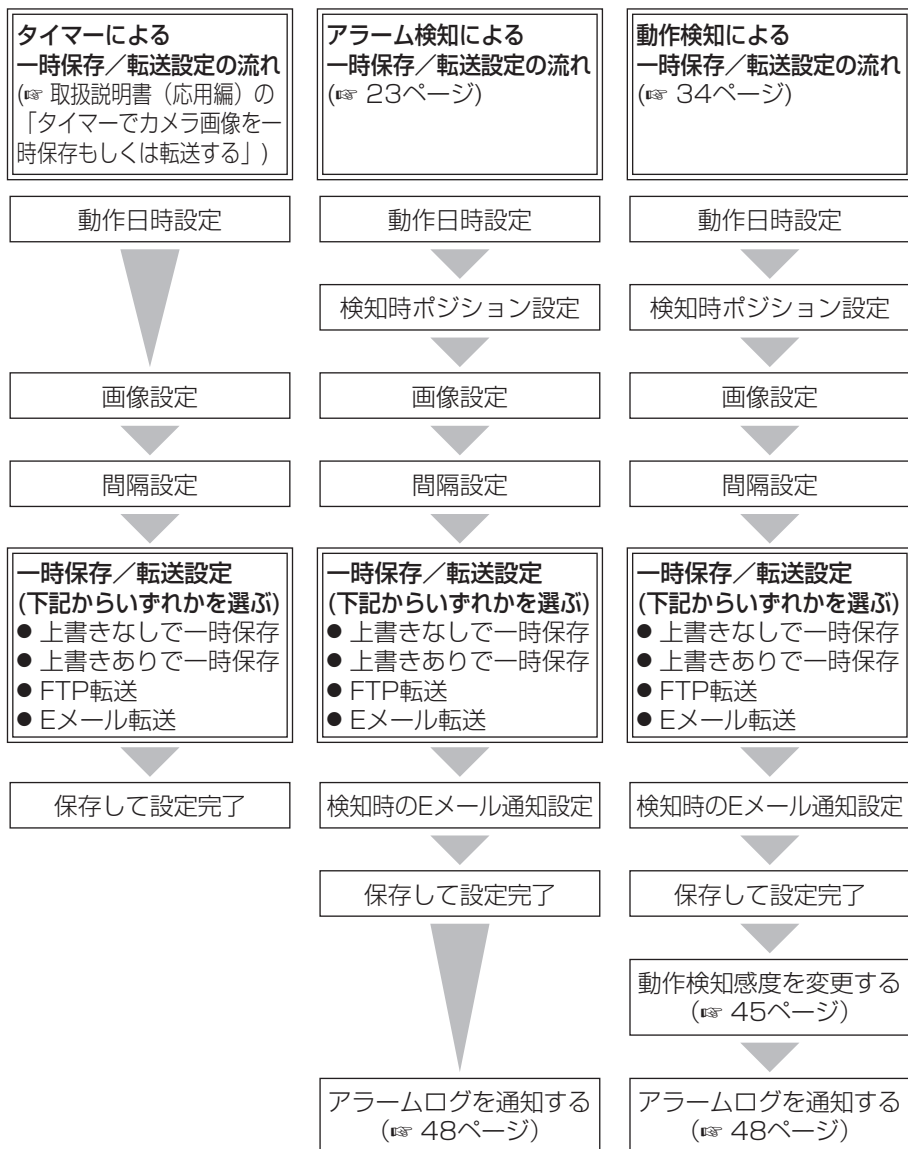
SDメモリーカードを取り出す前に、録画が停止していることを確認してください。SDメモリーカードへの録画開始後は、SDメモリーカードの抜き差し、カメラの再起動、または、電源を切ったりしないでください。録画できる枚数や容量の減少、または、データの破損や故障の原因となります。

カメラの各機能を使う

カメラ画像の一時保存／転送設定の流れ

23ページから34ページまでは、カメラ画像の一時保存／転送の設定手順、内容について記載しています。

設定の流れは、以下のようになります。実際の設定の際に参考にしてください。



カメラの各機能を使う

「FTP 転送を行う場合」における「ログイン ID」と「パスワード」の入力文字制限を変更

取扱説明書中の「タイマーでカメラ画像を一時保存もしくは転送する」と「アラーム検知でカメラ画像を一時保存もしくは転送する」の「FTP 転送を行う場合」において、FTP サーバーにログインするために必要な「ログイン ID」と「パスワード」の入力文字として「」以外を使うことができます。

FTP 転送	
サーバーのアドレスまたは ホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準21、1～65535)	<input type="text" value="21"/>
ログインID (半角0～63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0～63文字)	<input type="password"/>
ログインタイミング	<input type="button" value="毎回"/>
ファイル名 (半角1～232文字)	<input type="text"/>
書込方法	<input type="button" value="上書きする"/>
データ転送方式	<input type="button" value="パッシブモード"/>

データ入力欄

設定項目	設定内容
ログイン ID	● サーバーにログインするときの ID を設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0 ～ 63 文字の半角英数字、記号を入力します。 ただし、["] は使えません。
パスワード	● サーバーにログインするときのパスワードを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0 ～ 63 文字の半角英数字、記号を入力します。 ただし、["] は使えません。

カメラの各機能を使う

「Eメール転送を行う場合」において、「ポート番号」が設定可能、また、「ログインID」、「パスワード」、「送信者（Eメールアドレス）」および「あて先1～3（Eメールアドレス）」の入力文字制限を変更

取扱説明書中の「タイマーでカメラ画像を一時保存もしくは転送する」と「アラーム検知でカメラ画像を一時保存もしくは転送する」の「Eメール転送を行う場合」において、下記の事項を行うことができます。

The screenshot shows the 'Eメール転送' (Email Transfer) configuration window. It contains the following fields and labels:

- 送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名** (Sending Email (SMTP) Server Address or Host Name)
- ポート番号 (標準25, 1～65535)** (Port Number (Standard 25, 1~65535)) - circled with ①
- 受信Eメール(POP3)サーバーのアドレスまたはホスト名** (Receiving Email (POP3) Server Address or Host Name)
- ポート番号 (標準110, 1～65535)** (Port Number (Standard 110, 1~65535)) - circled with ①
- ログインID (半角0～63文字)** (Login ID (Half-width 0~63 characters)) - circled with ②
- パスワード (半角0～63文字)** (Password (Half-width 0~63 characters)) - circled with ②
- 送信者 (Eメールアドレス)** (Sender (Email Address)) - circled with ③
- あて先1 (Eメールアドレス)** (Destination 1 (Email Address)) - circled with ③
- あて先2 (Eメールアドレス)** (Destination 2 (Email Address)) - circled with ③
- あて先3 (Eメールアドレス)** (Destination 3 (Email Address)) - circled with ③
- 件名 (半角44文字, 全角22文字以内)** (Subject (Half-width 44 characters, Full-width 22 characters or less))
- 本文 (半角63文字, 全角31文字以内)** (Body (Half-width 63 characters, Full-width 31 characters or less))

At the bottom are buttons for '< 戻る' (Back), '保存' (Save), and 'キャンセル' (Cancel).

データ入力欄

設定項目		設定内容
①	ポート番号	● SMTPのポート番号の設定を1～65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
	ポート番号	● POP3のポート番号の設定を1～65535の範囲で行います。通常110番を設定します。
②	ログインID	● POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。 ただし、[""]は使えません。
	パスワード	● POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。 ただし、[""]は使えません。
③	送信者（Eメールアドレス）	● Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレスを入力することをおすすめします。 ただし、[""]は使えません。
	あて先1～3（Eメールアドレス）	● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。 ただし、[""]は使えません。

カメラの各機能を使う

アラーム検知でカメラ画像を一時保存もしくは転送する

アラームを検知したときにカメラ画像を一時保存もしくはFTP転送、Eメール転送するための条件を設定します。



この機能を使うには、カメラにアラームを取り付ける必要があります。
(※ 取扱説明書（応用編）の「I/Oコネクタについて」)

- 1 設定画面で **動作条件** をクリックする
- 2 設定する動作条件の**No.**をクリックする

動作条件												
No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-

- 3 「設定を有効にする」にチェックし、動作条件として「アラーム1」または「アラーム2」を選び、検知する信号として「立上り（開放）」または「立下り（短絡）」を選び、 **次へ** をクリックする

動作条件設定
☒ 設定を有効にする。
動作条件 アラーム1
検知する信号 立上り(開放)


一時保存されている画像を消去する。

次へ> 保存 キャンセル

- 選択された動作条件で一時保存されている画像を消去するには、**一時保存されている画像を消去する。** をクリックします。
- **保存** をクリックすると、設定が保存されます。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

カメラの各機能を使う


データ入力欄


設定項目	設定内容
設定を有効にする	●「設定を有効にする」ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作条件	●「タイマー」を選ぶと、設定した時間にカメラ画像の一時保存／転送を行います。 ●「アラーム1」または「アラーム2」を選ぶと、設定した時間にアラームを検知したときにカメラ画像の一時保存／転送を行います。 ●「動作検知」を選ぶと、画像の動きを検知して、決められた条件で画像を一時保存／転送します。
検知する信号	●IOコネクタに接続されたアラームの検知方法を選びます。 ●「立上り（開放）」または「立下り（短絡）」を選んでください。「立上り（開放）」はI/OコネクタのGピンと1番ピンまたは2番ピンを開放にした状態です。「立下り（短絡）」はI/OコネクタのGピンと1番ピンまたは2番ピンを短絡にした状態です。（  取扱説明書（応用編）の「I/Oコネクタについて」における「回路接続の例」）

4 動作日時を設定して **次へ>** をクリックする

動作日時設定

日	月	火	水	木	金	土	動作時間										
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> 常時	<input type="radio"/> 午前	0	時	0	分	午後	11	時	59	分

**おねがい**

タイマー機能は、カメラ内部の時計を使って動作します。タイマー機能を使う前に時計を合わせてください。（ 取扱説明書（応用編）の「時刻を合わせる」）

- **戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

カメラの各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
曜日	●それぞれの曜日ボックスにチェックを入れると、その曜日が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作時間	●時間帯を指定しないときは「常時」にチェックを入れてください。指定するときは時間指定欄のボックスにチェックを入れて時間帯を設定してください。

5 検知時ポジションの設定を行い **次へ>** をクリックする

検知時ポジション

移動先 なし

< 戻る

次へ>


キャンセル



検知時ポジションを設定すると、一時保存/転送は、カメラの向きがホームポジション、アラームポジションまたはプリセットポジションへ移動したあとに開始されます。

- **< 戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
移動先	●アラームを検知したときに、カメラの向きをホームポジション、アラームポジション（  取扱説明書（応用編）の「見たい画像の位置を登録して見る」）またはプリセットポジションに移動させるかどうかを設定します。

6 画像設定を行い **次へ>** をクリックする

画像設定

解像度 320x240

画質 標準

< 戻る


次へ>

キャンセル

- **< 戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

カメラの各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
解像度	● 一時保存／転送を行うときの解像度を選びます。 (640×480ドット、320×240ドット (工場出荷値)、 160×120ドット)
画質	● 画質優先： 画像の画質を優先します。(動きは遅くなります) 標準： 標準の画質です。(工場出荷値) 動き優先： 画像の動きを優先します。(画質は粗くなります) 携帯電話用： 携帯電話に転送するときにはこの設定にします。  画質として「携帯電話用」を選ぶときは、解像度 640×480ドットは設定できません。

7 一時保存／転送する間隔を指定して **次へ>** をクリックする

間隔設定

☐ 検知前の画像を一時保存／転送する
1秒間 に 1 枚の間隔で合計 1 枚を一時
保存／転送

☒ 検知後の画像を一時保存／転送する
1秒間 に 1 枚の間隔で合計 1 枚を一時
保存／転送

< 戻る 次へ> キャンセル



ネットワーク環境、被写体、アクセス数、IPsec機能の影響で、指定した枚数分録画されないことがあります。

- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

カメラの各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
検知前の画像を一時保存／転送する	<ul style="list-style-type: none">● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。アラームを検知したときの直前のカメラ画像を一時保存／転送します。● 一時保存／転送を行うときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。
検知後の画像を一時保存／転送する	<ul style="list-style-type: none">● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。アラームを検知したときの直後のカメラ画像を一時保存／転送します。● 一時保存／転送を行うときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。

8 一時保存／転送方法を選び **次へ>** をクリックする

画像一時保存／転送

☒ 一時保存(メモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。)

☐ 一時保存(メモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。)

☐ FTP転送

☐ Eメール転送



FTP転送、Eメール転送を使用する場合は、ネットワークの設定画面でデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーのIPアドレスが設定されているか確認してください。(P.28 取扱説明書(応用編)の「IPv4ネットワークにつなぐ」または「IPv6ネットワークにつなぐ」)

- **戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
一時保存(上書きなし)	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。
一時保存(上書きあり)	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。
FTP転送	● FTPサーバーにカメラ画像を転送することができます。(P.28 28ページ)
Eメール転送	● Eメールを使ってカメラ画像を転送することができます。(P.30 30ページ)

カメラの各機能を使う

■ FTP 転送を行う場合

「FTP 転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

FTP転送	
サーバーのアドレスまたは ホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準21、1～65535)	<input type="text" value="21"/>
ログインID (半角0～63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0～63文字)	<input type="text"/>
ログインタイミング	毎回 ▾
ファイル名 (半角1～232文字)	<input type="text"/>
書込方法	上書きする ▾
データ転送方式	パッシブモード ▾

- **＜戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

カメラの各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● サーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253 のように 4 つの数字 (0 ~ 255) と 3 つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0" と "255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、1 ~ 255 文字の半角英数字、記号を入力します。)● IPv6 アドレスも設定することができます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は 1 ~ 65535 の範囲で行います。通常 21 番を設定します。
ログイン ID ※ ²	<ul style="list-style-type: none">● サーバーにログインするときの ID を設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0 ~ 63 文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※ ²	<ul style="list-style-type: none">● サーバーにログインするときのパスワードを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0 ~ 63 文字の半角英数字、記号を入力します。
ログインタイミング	<ul style="list-style-type: none">● サーバーにログインする回数を設定します。「1 回」に設定して転送間隔が 1 分以内の場合、FTP サーバーへのログインは 1 回しか行わないので、ログイン・ログアウトによる処理時間を削減することができます。
ファイル名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● サーバーに保存するファイルの名前を設定します。1 ~ 232 文字の半角英数字、記号を入力します。("/") を入力することで、サーバーに作成するディレクトリ名を含むこともできます。) 例: NetworkCamera/image
書込方法	<ul style="list-style-type: none">● 「上書きする」を選ぶとサーバー上にカメラ画像を上書きしながら保存します。「ファイル名に日時を追加する」を選ぶとファイル名に日時がつけられるので、カメラ画像を上書きせずに保存していきます。 例: image20050101093020500.jpg 例示しているファイル名の数字は「2005 年 1 月 1 日 9 時 30 分 20 秒 500 ミリ秒」を表しています。
データ転送方式	<ul style="list-style-type: none">● 通常は「パッシブモード」を選んでください。FTP が正常に動作しない場合は、「アクティブモード」を選び、動作を確認してください。

※¹ ただし、[スペース]、[']、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。

※² ただし、['] は使えません。

カメラの各機能を使う

■ Eメール転送を行う場合

「Eメール転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

Eメール転送	
送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準25、1～65535)	<input type="text" value="25"/>
受信Eメール(POP3)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準110、1～65535)	<input type="text" value="110"/>
ログインID (半角0～63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0～63文字)	<input type="password"/>
送信者 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先1 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先2 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先3 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
件名 (半角44文字,全角22文字以内)	<input type="text"/>
本文 (半角63文字,全角31文字以内)	<input type="text"/>

< 戻る 次へ> キャンセル

- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。



- Eメール転送はSMTP (Simple Mail Transfer Protocol) を使用しているメールサーバーでのみ正常に動作します。Hotmailのようにウェブブラウザを介してアクセスする場合は使用できません。
- Eメール転送による件名は「24時間制」だけで表示されます。
ファイル名は「image.jpg」です。
例) 設定した件名: 20050101093020500
例示している件名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。

カメラの各機能を使う

データ入力欄

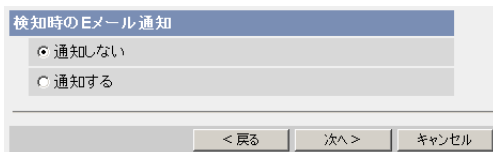
設定項目	設定内容
送信Eメール（SMTP） サーバーのアドレスまたは ホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● サーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1～65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
受信Eメール（POP3） サーバーのアドレスまたは ホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● サーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。ホスト名を設定するときは、0～255文字の半角英数字、記号を入力します。）● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1～65535の範囲で行います。通常110番を設定します。
ログインID※ ²	<ul style="list-style-type: none">● POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※ ²	<ul style="list-style-type: none">● POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
送信者 （Eメールアドレス）※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレスを入力することをおすすめします。
あて先1～3（Eメールアドレス）※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの件名を入力します。全角では、0～22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～44文字の英数字、記号のみ入力できます。
本文※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの本文を入力します。全角では、0～31文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～63文字の英数字、記号のみ入力できます。ただし、[改行]は使用できません。

※¹ ただし、[スペース]、[']、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。

※² ただし、[']は使えません。

カメラの各機能を使う

- 9 設定値を確認して **次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されるので、Eメールで通知するかどうか指定して、**次へ>** をクリックする



- 「通知する」を選んだときは、検知時のEメール通知設定画面が表示されるので、31ページのデータ入力欄の説明を参照して設定してください。
- **< 戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
通知しない	● FTP転送、Eメール転送を行っても、通知のEメールは送られません。
通知する	● FTP転送、Eメール転送を行ったときに、通知のEメールを送ることができます。あて先は3件まで設定できます。

- 10 設定値を確認して **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると、"保存が完了しました。"と表示されます。

カメラの各機能を使う

11 動作条件設定画面へ をクリックする

- 動作条件設定画面が表示されます。



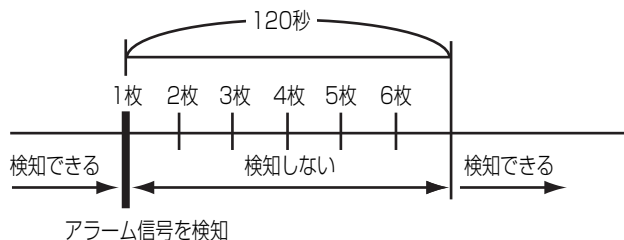
- 携帯電話にEメール転送するときは、転送間隔を短めに設定するとEメール転送される回数が増え、ポケット料金がよくかかる可能性がありますので、転送間隔を長めに設定することをおすすめします。

携帯電話への転送間隔設定の推奨例：

1分間に1枚の間隔で合計1枚を一時保存／転送

- アラーム転送は一度の検知により設定したすべての画像枚数を一時保存もしくは転送してしまうまで、次の検知は行われません。

例えば、1分間に3枚の間隔で合計6枚を一時保存／転送する場合のアラーム信号の検知動作は以下のようになります。



- 内部メモリーに一時保存している場合は、下記の操作を行っても、内部メモリー内の一時保存画像はすべて消去されます。
 - ・ 電源を切る。
 - ・ 「時計」の設定内容を保存する。
 - ・ **再起動** あるいは **バージョンアップ**、**工場出荷値に戻す** を行う。

カメラの各機能を使う

動作検知でカメラ画像を一時保存もしくは転送する

事前に設定した「しきい値」や「感度」を基に、人などの動きがあったことを検知する動作検知機能を搭載しました。この動作検知をトリガーとして、カメラ画像の一時保存や、FTP転送、Eメール転送することができます。動作検知により、カメラ画像を一時保存もしくはFTP転送、Eメール転送するための条件を設定します。



- 動作検知したときに、カメラはホームポジション、アラームポジションまたはプリセットポジションに向くことができます。
- IPsec設定画面においてアラームログ通知を表示するには、動作条件をアラーム1、アラーム2、または、動作検知にして、設定を有効にしてください。

1 設定画面で **動作条件** をクリックする

2 設定する動作条件のNo.をクリックする

動作条件												
No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—

3 「設定を有効にする」にチェックし、動作条件として「動作検知」を選び、 **次へ>** をクリックする

動作条件設定

☒ 設定を有効にする。

動作条件 動作検知

一時保存されている画像を消去する。

次へ> 保存 キャンセル

- 選択した動作条件で一時保存されている画像を消去するには、**一時保存されている画像を消去する。** をクリックします。
- **保存** をクリックすると、設定が保存されます。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

カメラの各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
設定を有効にする	●「設定を有効にする」ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作条件	●「タイマー」を選ぶと、設定した時間にカメラ画像の一時保存／転送を行います。 ●「アラーム1」または「アラーム2」を選ぶと、設定した時間にアラームを検知したときにカメラ画像の一時保存／転送を行います。 ●「動作検知」を選ぶと、画像の動きを検知して決められた条件で画像を一時保存／転送します。

4 動作日時を設定して **次へ>** をクリックする

動作日時設定

日	月	火	水	木	金	土	動作時間										
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> 常時	<input type="radio"/> 午前	0	時	0	分	午後	11	時	59	分



動作日時は、カメラ内部の時計を使って動作します。タイマー機能を使う前に時計を合わせてください。(※ 取扱説明書(応用編)の「時刻を合わせる」)

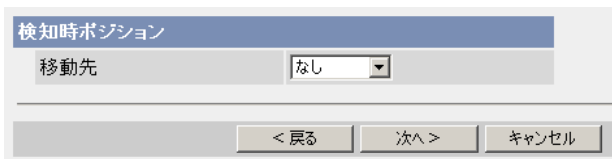
- **戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
曜日	●それぞれの曜日ボックスにチェックを入れると、その曜日が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作時間	●時間帯を指定しないときは「常時」にチェックを入れてください。指定するときは時間指定欄のボックスにチェックを入れて時間帯を設定してください。

カメラの各機能を使う


5 検知時ポジションの設定を行い **次へ>** をクリックする



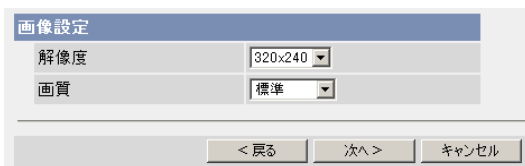
検知時ポジションを設定すると、一時保存/転送は、カメラの向きがホームポジション、アラームポジションまたはプリセットポジションへ移動したあとに開始されます。

- **< 戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
移動先	<ul style="list-style-type: none">● 動作を検知したときに、カメラの向きをホームポジション、アラームポジション（ 取扱説明書（応用編）の「見たい画像の位置を登録して見る」）またはプリセットポジションに移動させるかどうかを設定します。


6 画像設定を行い **次へ>** をクリックする



- **< 戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

カメラの各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
解像度	● 一時保存／転送を行うときの解像度を選びます。 (640×480ドット、320×240ドット (工場出荷値)、 160×120ドット)
画質	● 画質優先： 画像の画質を優先します。(動きは遅くなります。) 標準： 標準の画質です。(工場出荷値) 動き優先： 画像の動きを優先します。(画質は粗くなります。) 携帯電話用： 携帯電話に転送するときにはこの設定にします。  画質として「携帯電話用」を選ぶときは、解像度 640×480ドットは設定できません。

7 一時保存／転送する間隔を設定して **次へ>** をクリックする

間隔設定

☐ 検知前の画像を一時保存／転送する
[1 秒間] に [1] 枚の間隔で合計 [1] 枚を一時
保存／転送

☒ 検知後の画像を一時保存／転送する
[1 秒間] に [1] 枚の間隔で合計 [1] 枚を一時
保存／転送

< 戻る

次へ >

キャンセル



ネットワーク環境、被写体、アクセス数、IPsec機能の影響で、指定した枚数分録画されないことがあります。

- **< 戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

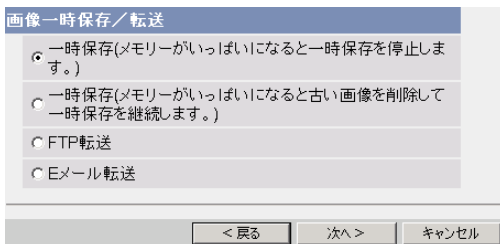
データ入力欄

設定項目	設定内容
検知前の画像を一時保存／転送する	● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。アラームを検知したときの直前のカメラ画像を一時保存／転送します。 ● 一時保存／転送を行うときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。

カメラの各機能を使う

設定項目	設定内容
検知後の画像を一時保存／転送する	<ul style="list-style-type: none"> ● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。アラームを検知したときの直後のカメラ画像を一時保存／転送します。 ● 一時保存／転送を行うときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。

8 一時保存／転送方法を選び **次へ>** をクリックする



FTP転送、Eメール転送を使用する場合は、ネットワークの設定画面でデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーのIPアドレスが設定されているか確認してください。(※ 取扱説明書(応用編)の「IPv4ネットワークにつなぐ」または「IPv6ネットワークにつなぐ」)

- **< 戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
一時保存（上書きなし）	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。
一時保存（上書きあり）	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。
FTP転送	● FTPサーバーにカメラ画像を転送することができます。 (※ 39ページ)
Eメール転送	● Eメールを使ってカメラ画像を転送することができます。 (※ 41ページ)

カメラの各機能を使う

■ FTP 転送を行う場合

「FTP 転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

FTP転送	
サーバーのアドレスまたは ホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準21、1～65535)	<input type="text" value="21"/>
ログインID (半角0～63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0～63文字)	<input type="text"/>
ログインタイミング	<input type="text" value="毎回"/>
ファイル名 (半角1～232文字)	<input type="text"/>
書込方法	<input type="text" value="上書きする"/>
データ転送方式	<input type="text" value="バッチモード"/>

- **戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

カメラの各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	● サーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253 のように 4 つの数字 (0 ~ 255) と 3 つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0" と "255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、1 ~ 255 文字の半角英数字、記号を入力します。) ● IPv6 アドレスも設定することができます。
ポート番号	● 設定は 1 ~ 65535 の範囲で行います。通常 21 番を設定します。
ログイン ID ※ ²	● サーバーにログインするときの ID を設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0 ~ 63 文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※ ²	● サーバーにログインするときのパスワードを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0 ~ 63 文字の半角英数字、記号を入力します。
ログインタイミング	● サーバーにログインする回数を設定します。「1 回」に設定して転送間隔が 1 分以内の場合、FTP サーバーへのログインは 1 回しか行われないので、ログイン・ログアウトによる処理時間を削減することができます。
ファイル名※ ¹	● サーバーに保存するファイルの名前を設定します。1 ~ 232 文字の半角英数字、記号を入力します。("/" を入力することで、サーバーに作成するディレクトリ名を含むこともできます。) 例：NetworkCamera/image
書込方法	● 「上書きする」を選ぶとサーバー上にカメラ画像を上書きしながら保存します。「ファイル名に日時を追加する」を選ぶとファイル名に日時がつけられるので、カメラ画像を上書きせずに保存していきます。 例：image20050101093020500.jpg 例示しているファイル名の数字は「2005 年 1 月 1 日 9 時 30 分 20 秒 500 ミリ秒」を表しています。
データ転送方式	● 通常は「パッシブモード」を選んでください。FTP が正常に動作しない場合は、「アクティブモード」を選び、動作を確認してください。

※¹ただし、[スペース]、[']、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。

※²ただし、[""] は使えません。

カメラの各機能を使う

■ Eメール転送を行う場合

「Eメール転送」をチェックして、 **次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

Eメール転送	
送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準25, 1~65535)	<input type="text" value="25"/>
受信Eメール(POP3)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準110, 1~65535)	<input type="text" value="110"/>
ログインID (半角0~63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0~63文字)	<input type="password"/>
送信者 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先1 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先2 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先3 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
件名 (半角44文字, 全角22文字以内)	<input type="text"/>
本文 (半角63文字, 全角31文字以内)	<input type="text"/>

< 戻る 次へ> キャンセル

- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。



- Eメール転送はSMTP (Simple Mail Transfer Protocol) を使用しているメールサーバーでのみ正常に動作します。Hotmail のようにウェブブラウザを介してアクセスする場合は使用できません。
- Eメール転送による件名は「24時間制」だけで表示されます。
ファイル名は「image.jpg」です。
例) 設定した件名: 20050101093020500
例示している件名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。

カメラの各機能を使う

データ入力欄

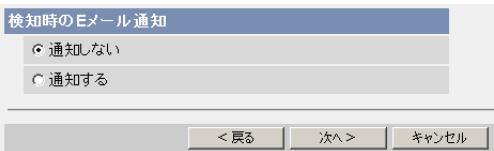
設定項目	設定内容
送信Eメール（SMTP） サーバーのアドレスまたは ホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● サーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1～65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
受信Eメール（POP3） サーバーのアドレスまたは ホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● サーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。ホスト名を設定するときは、0～255文字の半角英数字、記号を入力します。）● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1～65535の範囲で行います。通常110番を設定します。
ログインID※ ²	<ul style="list-style-type: none">● POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※ ²	<ul style="list-style-type: none">● POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
送信者 （Eメールアドレス）※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレスを入力することをおすすめします。
あて先1～3（Eメールアドレス）※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの件名を入力します。全角では、0～22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～44文字の英数字、記号のみ入力できます。
本文※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの本文を入力します。全角では、0～31文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～63文字の英数字、記号のみ入力できます。ただし、[改行]は使用できません。

※¹ ただし、[スペース]、[']、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。

※² ただし、[']は使えません。

カメラの各機能を使う

- 9 設定値を確認して **次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されるので、Eメールで通知するかどうか指定して、**次へ>** をクリックする



- 「通知する」を選んだときは、検知時のEメール通知設定画面が表示されるので、42ページのデータ入力欄の説明を参照して設定してください。
- **< 戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
通知しない	● FTP転送、Eメール転送を行っても、通知のEメールは送られません。
通知する	● FTP転送、Eメール転送を行ったときに、通知のEメールを送ることができます。あて先は3件まで設定できます。

- 10 設定値を確認して **保存** をクリックする
- 新しく設定した内容が保存されます。
 - 保存が完了すると、"保存が完了しました。"と表示されます。
- 11 **動作条件設定画面へ** をクリックする
- 動作条件設定画面が表示されます。

カメラの各機能を使う

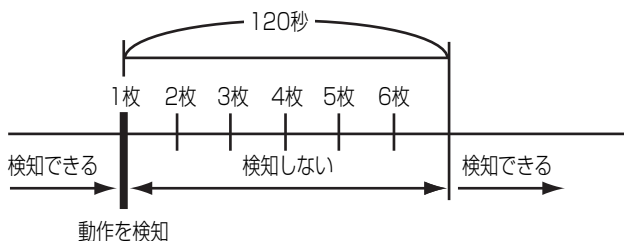


- 携帯電話にEメール転送するときは、転送間隔を短めに設定するとEメール転送される回数が増え、パケット料金が多くなる可能性がありますので、転送間隔を長めに設定することをおすすめします。

携帯電話への転送間隔設定の推奨例：

1分間に1枚の間隔で合計1枚を一時保存／転送

- 動作検知による画像転送では、一度の検知により設定したすべての画像枚数を一時保存もしくは転送してしまうまで、次の検知は行われません。例えば、1分間に3枚の間隔で合計6枚を一時保存／転送する場合の動作検知は以下ようになります。



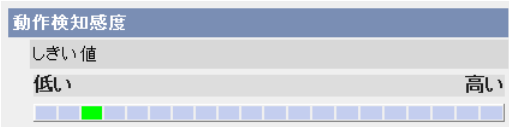
- 内部メモリーに一時保存している場合は、下記の操作を行っても、内部メモリー内の一時保存画像はすべて消去されます。
 - ・ 電源を切る。
 - ・ 「時計」の設定内容を保存する。
 - ・ **再起動** あるいは **バージョンアップ**、**工場出荷値に戻す** を行う。
- 一時保存画像においては、解像度、画質、被写体の状況により保存できる枚数は変わります。320×240ドットの解像度、画質を標準にした場合で、内部メモリーに約125枚保存できます。（動作条件設定画面で、アラーム、タイマー、または動作検知を「有効」に設定しているときは、その設定数[最大5つ]分にメモリーの容量が分割されます。3つ設定しているときは、内部メモリーにそれぞれ約40枚保存できます。）ファイルサイズと一時保存枚数については取扱説明書（応用編）の「ファイルサイズと一時保存枚数について」を参照してください。
- 動作検知は、解像度、画質、被写体の状況により、検知レベルが異なります。実際に動作検知を行い、検知レベルを確認してください。
- 動作検知の設定を有効にすると、フレームレート（画像更新速度）が遅くなります。
- 光や風などの影響により画面に変化が生じた場合は、誤って検出する場合があります。
- 暗いときは動作検知できない場合があります。
- 動きが速い物体は動作検知できない場合があります。より確実に画像の一部分の小さな動作を検知するためには、検知したい対象物からカメラをなるべく離して設置して対象物を画面内に十分収めるとともに、しきい値はより低めに、感度はより高めに設定してください。

カメラの各機能を使う

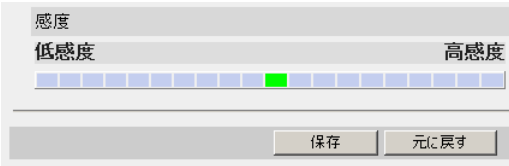
動作検知感度を変更する

動作検知の感度を変更することができます。動作条件が動作検知のとき有効になります。「しきい値」は、動作検知のしきい値を調整します。しきい値が低いほど小さな変化で検知します。「感度」は、感度が高いほど動作検知バーの振幅が大きくなります。動作検知機能の詳しい説明については、46ページの「動作検知機能について」を参照してください。

- 1 設定画面で **動作検知感度** をクリックする
- 2 「しきい値」バーをクリックする



- 3 「感度」バーをクリックする



- 4 **保存** をクリックする
 - **元に戻す** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。
- 5 **動作検知感度設定画面へ** をクリックする
 - 動作検知感度設定画面が表示されます。

データ入力欄

設定項目	設定内容
しきい値	● 動作検知のしきい値を調整します。しきい値が低いほど、小さな変化で検知します。
感度	● 感度が高いほど、動作検知バーの振幅が大きくなります。



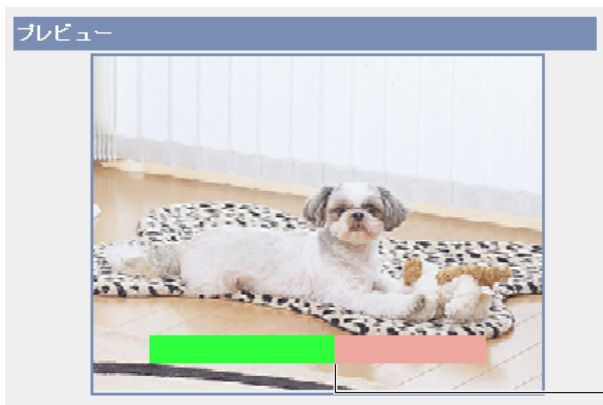
- パン／チルト中は動作検知しません。
- ズーム操作中は動作検知しません。(BB-HCM381)

カメラの各機能を使う

■ プレビュー

現在のしきい値の設定値と検知レベルが表示されます。

- しきい値：緑色と赤色の境で表示されます。
- 検知レベル：濃い色と薄い色の境で表示されます。検知レベルがしきい値を超えると、動作を検知します。
- 設定したしきい値および感度は保存したあとに有効になり、プレビューに反映されます。
- クリック&センタリング操作を行うことができます。



しきい値

■ 動作検知機能について



動作検知機能を使うことによって生じた事故などの結果について、当社は一切の責任を負いません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、動作検知機能を使わないことをおすすめします。動作検知機能は、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。

● しきい値とは？

動作検知を行う場合に、カメラ画像に動きがあったかどうかを判断するために設定する値です。

小さな動きの変化に応じて検知したい場合は、より低い値に設定してください。

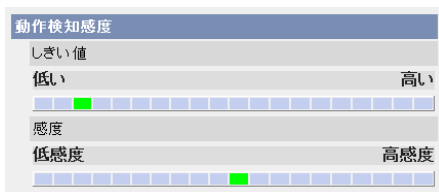
カメラ画像の半分以上を占めるくらいの大きな動きの変化に応じて検知したい場合は、より高い値に設定してください。

カメラの各機能を使う

● 感度とは？

感度は、画像の輝度にどのくらいの変化がある場合に動きがあると判断するかを決めるために設定する値です。

より高感度に設定すると、わずかな輝度の変化でも動きとして捉えます。大きな輝度変化の場合だけを動きとして捉えたいときは、より低感度に設定してください。

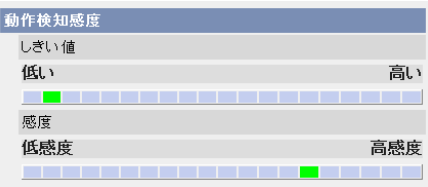


検知レベルが「しきい値」以上になると、検知します。

「しきい値」で設定したレベルに対応



しきい値はより低めに、感度はより高感度に設定することで、画像の一部分の小さな動きでも動作を検知し、より簡単に動きを検知することができます。



カメラ搭載の動作検知は、動きの変化を動体の輪郭の変化と輝度変化によって検知しています。

これは、太陽光などによる全体的な明るさの変化で誤って動作検知することを軽減するためです。

ただし、蛍光灯などにより全体的に明るさが急変する場合は、誤って動作検知する場合がありますのでご注意ください。一方、別売のネットワークカメラ専用録画プログラムの動作検知は、動きの変化を動体全体の変化と輝度変化によって検知しています。そのために同じ動作を検知するための設定が、カメラの動作検知と録画プログラムとは異なります。

また、背景と同色の衣服を着た人物の動きなどに対して検知しにくいことがあります。

カメラの各機能を使う

アラームログを通知する

一日一回、指定した時間に送信されるEメールでアラームログを確認できるようになりました。アラームログ通知を設定するには、動作条件をアラーム1、アラーム2、または、動作検知にして、設定を有効にしてください。アラームログ通知を使うとき、DNSサーバーアドレスの設定が必要です。(※ 取扱説明書（応用編）の「IPv4ネットワークにつなぐ」または「IPv6ネットワークにつなぐ」) 取扱説明書（応用編）の「カメラ画像をトランスポートモードで暗号化する」においてアラームログ通知を表示するには、動作条件設定画面においてアラーム1、アラーム2、または、動作検知にして、設定を有効にしてください。

- 1 設定画面で **アラームログ通知** をクリックする
- 2 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

動作設定	
<input checked="" type="radio"/> 通知しない	
<input type="radio"/> 通知する(新着アラームログがない場合:通知しない)	
<input type="radio"/> 通知する(新着アラームログがない場合:通知する)	

日時設定	
日	月
火	水
木	金
土	日
通知時間	
年	月
日	時

アラームログ通知先設定	
送信Eメール(SMTPサーバー)のアドレスまたはホスト名	
ポート番号 (標準25, 1~65535)	25
受信Eメール(POP3サーバー)のアドレスまたはホスト名	
ポート番号 (標準110, 1~65535)	110
ログインID (半角0~93文字)	
パスワード (半角0~93文字)	
送信書 (Eメールアドレス)	
あて先1 (Eメールアドレス)	
あて先2 (Eメールアドレス)	
あて先3 (Eメールアドレス)	
件名 (半角44文字, 全角22文字以内)	アラームログ

保存 キャンセル

- 3 **保存** をクリックする
 - **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。
- 4 **アラームログ通知設定画面へ** をクリックする
 - アラームログ通知設定画面が表示されます。

カメラの各機能を使う



- 動作設定を変更して保存すると、新着アラームログは消去されます。
- カメラの再起動やバージョンアップを行うと、アラームログは消去されます。
- カメラを工場出荷値に戻すと、アラームログは消去されます。

データ入力欄

設定項目	設定内容
動作設定	● アラームログの通知動作について選びます。
日時設定	● アラームログを通知する場合、一日一回Eメールで通知します。その通知日時を設定します。
送信Eメール（SMTP） サーバーのアドレスまたは ホスト名※ ¹	● サーバーのアドレスを設定するときは、 192.163.0.253のように4つの数字（0～255）と3 つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0" と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設 定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力 します。） ● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	● 設定は1～65535の範囲で行います。通常25番を設定 します。
受信Eメール（POP3） サーバーのアドレスまたは ホスト名※ ¹	● サーバーのアドレスを設定するときは、 192.163.0.253のように4つの数字（0～255）と3 つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0" と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設 定するときは、0～255文字の半角英数字、記号を入力 します。） ● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	● 設定は1～65535の範囲で行います。通常110番を設 定します。
ログインID※ ²	● POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。 （プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文 字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※ ²	● POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定 します。（プロバイダーから指定されている場合のみ） 0～63文字の半角英数字、記号を入力します。

カメラの各機能を使う

設定項目	設定内容
送信者 (Eメールアドレス) ※2	● Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレスを入力することをおすすめします。
あて先1～3 (Eメールアドレス) ※2	● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名 ※2	● Eメールの件名を入力します。全角では、0～22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～44文字の英数字、記号のみ入力できます。

※1 ただし、[スペース]、[']、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。

※2 ただし、[""]は使えません。

カメラの各機能を使う

画像表示設定画面の「時刻表示設定」

画像表示設定画面の「時刻表示設定」における設定項目を変更しました。

シングル画面

解像度

320x240

画質

標準

画像更新間隔

動画

マルチ画面

解像度

320x240

画質

標準

画像更新間隔

動画

時刻表示設定

時刻表示

表示しない

表示言語設定


表示言語

英語

保存

元に戻す

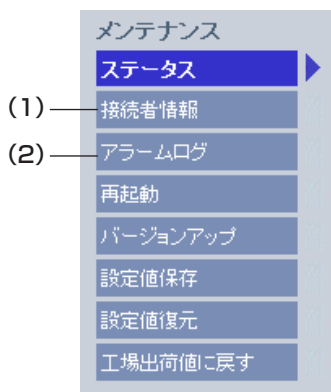
データ入力欄

設定項目	設定内容
時刻表示設定	<div><ul style="list-style-type: none">カメラ画像の左上に時刻を表示します。「表示する」または「表示しない」を選ぶことができます。</div> <div><div></div><div><ul style="list-style-type: none">この機能を使うと、一時保存画像画面上にも時刻が表示されます。時計設定で表示切替（12 時間制または24 時間制）を行うことができます。</div></div>



カメラのメンテナンスを行う

メンテナンス画面へ「接続者情報」と「アラームログ」を追加

メンテナンス画面へ「接続者情報」と「アラームログ」を追加しました。



[メンテナンス]

- | | |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 接続者情報 | カメラに接続しているクライアントの情報表示
( 53ページ) |
| (2) アラームログ | アラームログの表示 ( 54ページ) |

カメラのメンテナンスを行う

カメラへの接続者情報表示機能を追加

カメラに接続しているクライアントの情報を確認することができます。

メンテナンス画面で **接続者情報** をクリックすると次の画面が表示されます。

セッション数

動画と音声の現在の接続セッション数を表示します。

区分	最大接続数	現在の接続数
動画	30	4
音声	10	1

接続者リスト

現在の接続者一覧を最大40件表示します。

接続時刻	アクセス先	IPアドレス.ポート	接続者
------	-------	------------	-----



静止画でカメラに接続しているユーザーについては、セッション数および接続者リストには表示されません。

カメラのメンテナンスを行う

アラームログを表示する

アラームログを表示できるようになりました。新しい順に最大50件のアラームログを表示します。アラームログが50件を超える場合は、古い順に消去されます。

アラームログ		
アラームログを新しい順に最大50件表示します。アラームログが50件を超える場合は、古いログから順に消去されます。		
注：一時保存/傳送で一時保存(上書きなし)を選択した場合、メモリーがいっぱいになるとアラームログは更新されません。		
		新着アラームログ件数
		3
日時	センサーの種類	信号の種類
2005/ 5/19 13:24:32	動作検知	-----
2005/ 5/19 13:22:53	アラーム2	短絡
2005/ 5/19 13:21:36	アラーム1	開放

- 電源を切ると、アラームログは消去されます。

データ入力欄

項 目	内 容
新着アラームログ件数	● 新着アラームログ件数を表示します。
日時	● アラーム1、アラーム2、動作検知が反応した日時を表示します。
センサーの種類	● 動作条件設定画面の動作条件（アラーム1、アラーム2、動作検知）を表示します。
信号の種類	● アラーム1またはアラーム2を設定している場合、動作条件設定画面の「検知する信号」を表示します。

携帯電話でカメラ画像を見る

携帯電話でのプリセットポジションとアラームログ

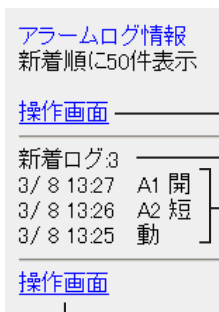
携帯電話からインターネットを使って、登録したプリセットポジションとアラームログを見ることができるようになりました。



BB-HCM381の工場出荷値では表示されません。

リンクをクリックして、登録したプリセットポジション（5～20）を見ることができます。

アラームログ情報を新着順に50件表示します。管理者でログインしたときのみ表示されます。



元の画面に戻ります。

新着アラームログ件数を表示します。

検知日時、センサー、信号の種類を表示します。

表示	動作条件	検知信号
A1 開	アラーム1	立上り(開放)
A2 短	アラーム2	立下り(短絡)
動	動作検知	-----

元の画面に戻ります。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号